

今月の

天友会・神勝寺からのお知らせ▶

のPick up

天友会、神勝寺で開催されるイベントの告知や、当日の様子などを紹介。皆さんぜひご参加ください。

天友会

ご逝去 謹んでお悔やみ申し上げます

青山 抱民様
2022年10月24日 73歳 在籍会社:神原汽船
小林 弘義様
2022年10月29日 82歳 在籍会社:旧・常石ボートサービス

新会員紹介

氏 名	退職時在籍会社
佐藤 浩生様	常石造船

12月の行事

『歩こう会』1時間程度歩きます。雨天の場合は中止

日 時	毎週火曜日 午前7時30分から
集合場所	ツネイシしまなみビレッジ本館

【お問い合わせ】
天友会事務局 所在地:福山市沼隈町中山南26-1
TEL:084-988-0302 FAX:084-988-0300

神勝寺

早朝坐禅会

日 時	毎週水曜日 午前6時から
場 所	国際禅道場内 大徹堂

無明会

日 時	12月12日(月)午前11時から
場 所	神勝寺 無明院

公開講座のご案内

講座名	禅文化講座(聴講無料)
日 時	12月17日(土)午後1時から
講 師	花園大学国際禅学研究所 芳澤 勝弘先生
場 所	神勝寺 無明院

※1月の日程については次回、お知らせします。

【お問い合わせ】
神勝寺 無明院
TEL:084-988-1111 FAX:084-988-0117

イベント告知&開催報告

入場無料!
天友会軽音楽部ウインターライブ

常石グループの皆さんのほか、海外研修生やOBを招いてライブコンサートを開催します。ベンチャーズやジャズ、ボサノバ、フォークソングなど、幅広いジャンルの曲を演奏予定。入場無料なので、お気軽にお越しください。

日 時	12月11日(日)開場 13:30/開演 14:00
場 所	みろくの里 ツネイシしまなみビレッジ センターハウス2階大ホール
参加費	無料
お問合せ	天友会事務局 084-988-0302



開催報告
第20回天友会ゴルフコンペ開催

10月28日に神石高原カントリークラブで「第20回天友会ゴルフコンペ」を開催しました。穏やかな天候の下、32人が参加し、腕前を競い合いながら親睦を深めました。結果は以下の通りです。おめでとうございます。

優勝 石井広丸さん
2位 村上英治さん
3位 佐藤厚志さん



つねいし通信

2022.12
Vol.009

事業所紹介

造船事業の未来とともに築く「三井E&S造船」

2022年10月、常石造船の連結子会社となった「三井E&S造船」。1960年代後半から常石造船と技術提携するなど、関わりは深い。2021年に設計エンジニアリング企業へと大きく舵を切った同社の歩みと、常石グループとのシナジーについて紹介する。

日本の造船業界をけん引。
長い歴史のなかで磨き上げた技術力

三井E&S造船は、1917年に現在の岡山県玉野市で旧三井物産造船部として創業。多種多様な船を建造し、近代化が進む日本において、造船業界をけん引してきた。

1942年に社名を三井造船に改称。事業領域を拡大し、総合重工業メーカーへと成長していく。21世紀に入ると、持続的成長を目指してグローバル化を推進。加えて、天然ガスを燃料とした船舶用ディーゼルエンジン「ME-GI」の開発にも成功。次世代の環境対応・低燃費船、LNG船を多数手がけてきた。また、自律運航船の実証実験にも成功するなど、高い技術力を有している。

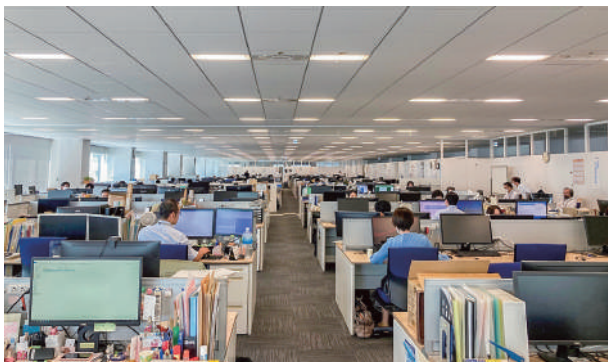
設計エンジニアリング企業としての
新たな事業展開

2018年、商号を現在の三井E&S造船に変更。2021年に船舶建造から撤退し、設計エンジニアリング企業へと舵を切った。現在は、従来の顧客および国内造船所を対象として、船型の共同開発や図面供与、ガス燃料供給システムや自律運航システムなどの販売といった新たなビジネスを展開。また、国内の造船業界が開発・設計のリソース不足に直面するなか、エンジニア派遣にも取り組み、エンジニアリングのニーズに応える“コンサルタント”としての役割も担っている。

「常石標準」のベースとなった「三井標準」

三井E&S造船が協業するパートナーのなかで、最も重要なポジションを占めているのが常石造船。両社のつながりは深く、その歴史は1960年代後半にさかのぼる。

1966年、船台の拡張を計画していた常石造船は、運輸省(現・国土交通省)の認可条件を満たすため、三井造船(当時)と提携。さらに1970～1975年にも、船台を2万総トン級に拡大するにあたって技術提携を行い、これが常石の設計に大き



築地オフィス

な変化をもたらした。

三井造船からの出向者が設計強化の必要性を常石の経営層に進言したことにより、設計部門が確立。常石造船の社員は、三井造船から派遣された設計者のもてで知識と技術を習得した。

こうして生まれたのが「三井標準」を常石に見合った形に最適化した「常石標準」。このほか、調達や工場運営のノウハウの確立、大手船会社や海外船主との取引開始など、多くのものが三井造船から常石造船にもたらされた。

常石造船とのシナジー

環境負荷低減や自律運航に代表されるデジタル化といった先端技術を強みとする三井E&S造船。そして、常石工場の開発力と海外工場が持つコスト競争力の相乗効果により多くの建造実績を上げているなかで、新しい事業やサービスの展開を模索している常石造船。両社がタッグを組むことで、新たな強みやビジネスモデルが生まれている。

三井E&S造船はエンジニアリング企業としての実績を積み上げることができる。一方、常石造船では、LNG燃料船の建造のさらなる推進が見込まれている。また、LPGタンクの製造、次世代燃料対応の共同研究もスタート。三井E&S造船のデジタル技術を活用した新サービスの構想も進行中だ。両社の協業が、“船を売って終わり”ではなく、付加価値を提供できる造船会社への変貌を加速させている。

September ~ October, 2022

地域とともにきれいな町づくりを AS工場東側海岸の清掃活動を実施

常石造船 9/23

常石造船は、AS工場東側海岸周辺の清掃活動を実施。常石造船本館やAS本部、協力会、ツネシホールディングスの有志約30人が、約1時間で軽トラック1台分のゴミを収集した。2007年から始まったこの活動は、地域貢献や環境美化、快適な職場環境づくりを目的とし、環境省と日本財団が推進する「海ごみゼロウィーク」キャンペーンに賛同して実施されている。



参加者30人が、小尾越公民館下の海岸から内海大橋下にかけて、小尾越浜海岸の周辺の掃除に汗を流した

協力関係を築き発展を目指す 副総経理一行、揚子江造船集団を訪問

常石集団(舟山)造船 [TZS] 9/23

TZSの代表者3人が、揚子江造船集団を訪問し、同社の代表者3人と会談を行った。現在の開発状況や製品の特徴についての簡単な紹介を行い、管理体制や調達などに関する知見を共有。「開放、革新、協力、統合」をテーマに協力関係を築き、スタッフの相互派遣や相互評価を通じて技術の向上を図り、さらなる発展を目指す。



会談終了後、新揚子造船と揚子鑫福造船の生産現場を視察した

工業用水を生活用水として提供 三保造船所、台風被害の回復に貢献

三保造船所 9/26~29

三保造船所が拠点を置く静岡県静岡市清水区が台風15号の被害に遭い、最大6万3000戸におよぶ大規模断水が発生し長期化した。一方で、三保造船所への工業用水の供給は続いていたため、9月26日から29日にかけて、工業用水を生活用水として近隣住民に提供した。約200組の住民がトイレの水などに活用し、同社にはお礼の言葉が多数届いた。



近隣住民からは「早く対応していただいて助かった」「飲料水を生活用水にできなかったのがありがたい」などの言葉が届いた

次の目標は500日 常石工場で365日無災害を達成!

常石造船 9/27

常石工場が「365日無災害」を達成した。安全パトロールに加え、危険な状態をスマートフォンで即座に共有する「Industry0.5+システム」の活用や「ISO 45001」の定着、安全マネジメントレビューや相互注意を徹底。事故の多い、入社3年目までの若手社員の見守り活動も行った。今回の達成はこうした取り組みが実を結んだもの。今後も、500日達成を目標に安全作業を継続する。



「365日無災害」という目標を立ててから10年以上の月日を要したが、見事達成することができた

バリアフリーで移動負担軽減 CE-147番船「つむぎ」の引渡式を実施

ツネシクラフト&ファシリティーズ [TFC] 9/28

TFCは9月28日、CE-147番船19総トン型アルミ合金製旅客船「つむぎ」の引渡式を行った。本船は、(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構と三洋汽船の共有船で、1997年2月に建造・竣工した「ぶりんす」の代替船。交通バリアフリー法に対応し、バリアフリースペースや乗下船用タラップなどの設備を配置し、高齢者や身体障がい者の移動負担を減らす。



本船は10月4日の就航式を経て、同16日から岡山県の笠岡港と香川県の佐柳島を結ぶ航路で運航を開始。最大搭載人員数は99人

物流の魅力を知って 福山物流センターで小学生の社会見学に協力

神原ロジスティクス 9/30

神原ロジスティクスは9月30日、地元の津之郷小学校の社会見学に協力。5年生46人を福山物流センターに招いた。まず、福山税関支署の協力で、税関の役割や通関士の仕事、通関手続きについて紹介。その後倉庫に移動し、移動ラックやフォークリフト、自動仕分け機などの説明を行った。同社は今後も社会見学を受け入れ、子どもの健全育成支援を継続していく。



子どもたちは税関の仕事について数多くの質問を投げかけ、現場見学では検針機が異物を検知し直ちにラインが停止する様子に歓声を上げていた

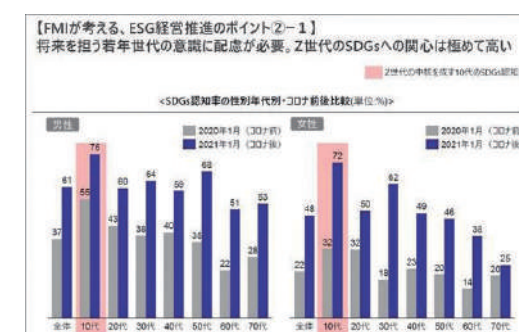
新しい世界を切り開く人材に 2023年度常石グループ内定式

常石グループ 10/3

「2023年度 常石グループ内定式」がオンラインで開催され、来年4月に入社予定の内定者43人が参加した。ツネシホールディングスの神原 秀忠副社長からの激励の後、会社別に懇親会を実施。入社後の姿をイメージできるよう、内定者同士や役員と話す機会を設けた。また内定者へギフトとして、ONOMICHI U2のドリップコーヒーや名刺クッキーなどが送られた。



「過去の経験や実績ではなく、若い世代の感性が、新しい世界を切り開くと期待しています」と神原 秀忠副社長



参加者からは「若い世代の関心の高さに驚いた」「取り組みが求職者にも影響していることを知った」などの感想が寄せられた

持続可能な企業へ サステナビリティセミナーを開催!

ツネシホールディングス [THD] 10/12

THDは10月12日、SMBCに依頼してサステナビリティセミナーを開催。約100人がオンラインにて参加し、「ESG・SDGsとリーダーシップ」をテーマに、企業として取り組むべきポイントやリーダーの役割について学んだ。講師は、取り組みの提供価値を明確に打ち出すことや若い世代への配慮の重要性について解説。参加者は、今後の取り組みに生かそうと、講師と多くの意見を交換していた。